

2026年度

認定看護管理者教育課程

ファーストレベル
セカンドレベル
サードレベル

募集要項



昭和医科大学看護キャリア開発・研究センター

1. 教育理念

患者・家族・学生・組織・社会のニーズに応じて、患者本位の質の高い医療サービスを提供するために、組織や個人のマネジメントが遂行できる看護管理者を育成し、看護の質向上や保健医療福祉に貢献する。

2. 教育目的

ファーストレベル

- 1) 看護専門職として必要な管理に関する基本的知識・技術・態度を習得する。

セカンドレベル

- 1) 看護管理者として基本的責務を遂行するために必要な知識・技術・態度を習得する。

サードレベル

- 1) 多様なヘルスケアニーズをもつ個人、家族、地域住民及び社会に対して、質の高い組織的看護サービスを提供するために必要な知識・技術・態度を習得する。

3. 到達目標

ファーストレベル

- 1) ヘルスケアシステムの構造と現状を理解できる。
- 2) 組織的看護サービス提供上の諸問題を客観的に分析できる。
- 3) 看護管理者の役割と活動を理解し、これからの看護管理者のあり方を考察できる。

セカンドレベル

- 1) 組織の理念と看護部門の理念の整合性を図りながら担当部署の目標を設定し、達成に向けた看護管理過程を展開できる。
- 2) 保健・医療・福祉サービスを提供するための質管理ができる。

サードレベル

- 1) 保健医療福祉の政策動向を理解し、それらが看護管理に与える影響を考えることができる。
- 2) 社会が求めるヘルスケアサービスを提供するために、看護現場の現状を分析し、データ化して提示することができる。
- 3) 経営管理の視点に立ったマネジメントが展開できる。

4. 教育内容

教育課程	時間	教科目
ファーストレベル	120 時間	ヘルスケアシステム論Ⅰ (15)、組織管理論Ⅰ (15)、人材管理Ⅰ (36)、資源管理Ⅰ (15)、質管理Ⅰ (18)、統合演習Ⅰ (15)、その他 (6)
セカンドレベル	200 時間	ヘルスケアシステム論Ⅱ (15)、組織管理論Ⅱ (30)、人材管理Ⅱ (45)、資源管理Ⅱ (18)、質管理Ⅱ (32)、統合演習Ⅱ (51)、その他 (9)
サードレベル	194 時間	ヘルスケアシステム論Ⅲ (30)、組織管理論Ⅲ (30)、人材管理Ⅲ (18)、資源管理Ⅲ (30)、質管理Ⅲ (30)、統合演習Ⅲ (53)、その他 (3)

5. 募集内容

	ファーストレベル	セカンドレベル	サードレベル
開催期間	2026年5月15日(金) ～ 7月26日(日) 分散形式(土・日曜日) ※開講初日のみ別曜日となります 全22日間の予定(半日の場合あり)	2026年6月10日(水) ～ 10月24日(土) 分散形式(金・土曜日) ※開講初日のみ別曜日となります 全36日間の予定(半日の場合あり)	2026年8月7日(金) ～ 12月13日(日) 分散形式(土・日曜日) ※開講初日のみ別曜日となります 全34日間の予定(半日の場合あり)
開催方法	オンライン (但し、セカンドレベル、サードレベルの実習1日間は対面で行う)		
募集数	80名	45名	30名
受講要件	1) 日本国の看護師免許を有する者。 2) 看護師免許を取得後、実務経験が通算5年以上ある者。 3) 看護管理に関心がある者。 1)～3)の全てに該当する者		
	1) 2) を満たし、かつ3)～5)のいずれかに該当 3) 認定看護管理者教育課程ファーストレベルを修了している者。 4) 看護部長相当の職位にある者。 5) 副看護部長相当の職位に1年以上就いている者。	1) 2) を満たし、かつ3)～5)のいずれかに該当 3) 認定看護管理者教育課程セカンドレベルを修了している者。 4) 看護部長相当の職位にある者。 5) 副看護部長相当の職位に1年以上就いている者。	
	※副看護部長相当の職位とは、保健医療福祉に関連した組織において、看護管理を行う立場を指す。		
小論文テーマ	応募動機 500字以内	自部署の看護管理上の課題をあなたの職位を踏まえてテーマ設定し、取り組みについて論じてください。 1,200字以内	自組織の看護管理上の課題をあなたの職位を踏まえてテーマ設定し、取り組みについて論じてください。 1,200字以内
受付期間	2026年3月1日(日) ～3月19日(木) ※4月中旬選考結果通知	2026年3月1日(日) ～3月19日(木) ※4月中旬選考結果通知	2026年3月20日(金) ～4月9日(木) ※5月上旬選考結果通知
入学検定料	5,000円	5,000円	5,000円
受講料	180,000円	250,000円	300,000円



本学の認定看護管理者教育課程ファーストレベル・セカンドレベル・サードレベルは、文部科学省の職業実践力育成プログラム(BP)として認定を受けております。また、厚生労働省の「**教育訓練給付制度**」を利用できます。ファーストレベルは教育訓練給付制度の「**特定一般教育訓練**」に、セカンドレベルとサードレベルは「**専門実践教育訓練**」に指定されています。

※受講開始日1ヶ月前までに、ご自身によるハローワークでの手続きが必要です。

6. 応募方法

- 1) **受付期間中に、入学検定料をお振込みの上、ホームページ上のエントリーフォームより申込みを完了させてください。※提出書類についてもエントリーフォームにアップロード。**
- 2) 入学検定料振込
 - (1) 入学検定料 5,000円
 - (2) 振込先 三菱UFJ銀行 わかたけ支店(809) 普通預金 口座番号 2497481
ガッコウホウジン ショウワイカダイガク
学校法人 昭和医科大学
 - (3) 振込人氏名 申込み者本人のお名前でお振込みください。

※入金後の返金対応は致しません。

- 3) 提出書類 ※ 全てPDFにしてアップロード (2), (3), (4)については画像データでも可
- (1) 申込書 (様式1)
 - (2) 看護師免許証の写し
 - (3) セカンド、サード受講要件 3) の場合、該当教育課程修了証の写し
 - (4) 勤務証明書 (様式2)
 - ・実務経験5年以上の証明
 - ・現施設で実務経験5年未満の場合は、通算5年以上の証明
 - ・係長 (主任) 、師長、副看護部長、看護部長相当は、職位欄の記載必須
 - (5) ファーストレベル: 応募動機 (様式3 ファースト用)
セカンド・サードレベル: 小論文 (様式3 セカンド・サード用)
 - (6) 必要書類確認書 (様式4)

7. 選考方法

- 1) 応募書類一式
- 2) 小論文 (ファーストレベルは、応募動機)

<小論文評価基準>

評価項目	評価の視点	配点
課題の理解	1. 小論文の課題を正しく理解している	12
思考力	2. 内容構成に一貫性がある	12
	3. 共通理解のある事柄を論拠にして自分の議論を展開している	12
	4. 自分自身の意見を明確に持っている	12
	5. 専門用語や概念の解釈が適切である	12
論述能力	6. わかりやすい文章である	10
	7. 文章が論理的に構成されている	10
	8. 文体や用語の表現が適切である	10
	9. 所定の文字数である	10

5段階: S (90点以上) A (89~80点) B (79~70点) C (69~60点) D (59点以下)

8. 受講手続

合格通知時に書類で案内する。

※納入された受講料は原則として返還致しません。

※再審査には、別途料金が発生します。

9. 修了の要件

- 1) 必須教科目の各出席時間数が既定の4/5以上であること。
 - 2) 教科目レポートの評価がC以上であること。
 - 3) セカンドレベル・サードレベルの統合演習は評価がB以上であること。
- 1) ~3) について教育委員会の修了審査を経て決定する。

【問合せ先】

〒142-8555
 東京都品川区旗の台1丁目5番8号
 昭和医科大学看護キャリア開発・研究センター
 Tel: 03(5749)8903
 E-mail: kango-carrier@cmed.showa-u.ac.jp

提出された個人情報、本学の個人情報保護に関する規則に則って取扱い、受講者選考、選考結果の通知、受講手続き・受講中のお知らせ等の業務に使用する以外の目的では使用致しません。

【昭和医科大学看護キャリア開発・研究センターURL】

https://www.showa-u.ac.jp/education/ns_career/